



中 坊 陽 議員
なか ぼう あきら

令和3年度の当初予算は

汐見町長

過去最大の当初予算規模

Q 基本方針は

A 既定経費の合理化と財源の重点的・効率的な配分や一般行政経費の抑制・節減に努めながら、本町の最も大きな課題である人口減少対策としてのJR奈良線の複線化、企業誘致、国道24号城陽井手木津川バイパス整備を

着実に前進させるとともに、生活基盤の整備

や福祉・教育の充実など、これまでの継続的な取組についても、さらに積極的に推進していく。

Q コロナ対策は

A 本年度に引き続き新型コロナウイルス感

染症拡大防止の対応が非常に重要となることから、4月以降開始予定

の高齢者へのワクチン接種が速やかに行えるよう、全庁をあげて取り組むとともに、町内の全公的施設への非接触検温器の配置・保育施設への空調設備等の整備・図書館環境整備など、さらにコロナ禍における地域経済の活性化と消費者支援を図るため、本年度に引き続き、商工会がプレミアム率3割で実施されるプレミアム付き商品券への発行補助にも取り組んでいく。

Q 重点政策は

A 庁舎建設・山吹ふれあいセンターの移転老朽化している多賀地区の町営住宅の建て替え、京都府立特別支援学校へのアクセス道路整備などの大型事業の実施により48億1千百万円と過去最大の当初予算規模となっているが、国や府の制度を活用するとともに、このような事態に備え、積み立ててきた各種基金を有効に活用しながら、行政水準や住民サービスが向上できるよう予算編成を行った。

道の駅準備は

藤岡地域創生
推進室長

開設準備検討会で

検討中

Q 本町の自然を守った施設が望まれるが考えは。

A 椿坂周辺の里山の景観や玉川、大正池など都市部にはない豊かな自然、さらには町内

外から入手できる新鮮な農産物や特産品など、本町の様々な魅力を発信する交流拠点として位置付けるとともに、

物販、飲食機能などを新庁舎と併設する新たなふれあいセンター1階北側に集約する。

Q 管理運営の方法と

A 現在、学識経験者、町商工会、JA井手町支店、個人事業主、まちづくり団体等で構成する「井手町道の駅開設準備検討会」において、先進・類似事例の視察や営業収支の予測等を行いながら検討している。

準備状況は。



道の駅予定地

令和3年度には、販売予定の特産品や運営主体の内容、更にはまちづくりセンター椿坂と周辺農地の活用方法などを取りまとめ、準備を着実に進めていきたい。



脇本 尚憲 議員

具体的なGIGAスクール構想は

高江
学校教育課長

学習過程に応じて タブレットを活用

Q 児童・生徒への1人1台の端末の活用による学習環境の充実は。

の発表などで活用してきた。

A 平成30年に各学校にタブレット端末を整備し、主にグループ学習の場面で、各教科で検索サイトを使った調べ学習、実験や運動を写真や動画で撮影しての分析・考察、さらにそれらを用いたまとめ

の発表などで行ってきた。これを基本に、発達段階や各教科の特性を踏まえながら、学習過程に応じてタブレット端末を活用していく。

具体的には、QRコードを読み込んだ学習や、端末での課題等の配布、さらに文書やレポートを作成して電

子データでの提出が行える。

Q 学校外でのタブレット端末の活用方法は。

A リモート対応や課



家庭学習にタブレットを活用

題の配布・回収、さらにはオンラインでの授業配信などを行っているが当面は、学校内でタブレット端末を活用していく。

Q 家庭でのタブレット端末の使用の課題と対策は。

A 課題としては家庭の通信環境整備。通信環境が整っていない家庭に貸し出しするモバイルルーターの整備を本年度から行っている。

多賀駅前開発の進捗は

島田副町長

出店企業を広く公募する

Q 多くの住民から小さな規模でも日用品が買える場所が必要との声を聞く。多賀駅前開発の進捗状況は。

A 京都府において、商業施設誘致にむけた企業との窓口になっていただき、積極的に取り組んできた。

十数社の企業から具

体的な問い合わせがあったことから、アンケート調査を実施するとともに、希望する企業に対しヒアリング調査を行い、商業施設出店に対する条件や意向等を確認した。

出店に対し前向きに検討を進めている企業が複数社あったことから、昨年12月に地元地権者に対し、今後の進め方として、出店企業を広く募集し、第三者による選考委員会において、対象となる地権者と優先的に協議できる企業を選定する方法

について、説明を行い、同意をいただいた。

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた緊急事態宣言が出され、応募予定企業において、計画案等の資料作成や企業内の意思決定に時間を要することが想定されることから、公募を開始する時期を検討している。

Q 開発に対して本町の考えは。

A 日常生活に必要な食品等を販売する商業施設を早期に誘致するため、1ha以上のまとまった開発区画であれば応募を認める。



開発が待たれる多賀駅前

多賀駅前地域の約5・8haの区域については、本町の将来のまちづくりの観点から、立地条件を生かした生活拠点として、商業的土地利用を図ることが重要である。



谷 田 利 一 議員

小・中学校の学力向上対策は

中田教育長

検定チャレンジで 高まる学習意欲

Q 令和2年度より小学校で、令和3年度より中学校で、新しい学習指導要領がスタートし、より一層学力向上の対策が求められている。

本町の小・中学校の現在の状況を問う。

A 学力向上対策の中心となる「ジョイントアップ推進事業」にお

いて、小・中学校が連携して、授業における教員の指導力向上にむけて研究・実践を積極的に進めている。

児童・生徒は、落ち着いた状況で学習に向きに取り組んでいる。

Q 新しい学習指導要領をもとに、今後の対応は。

A 新しい学習指導要領に求められている

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え判断して行動できる力を育成するため、従来の講義型の授業ではなく、一人ひとりが自分の意見を言う、人の話をしっかりと聞くといった授業改善に取り組んでいる。

小学校で導入されたプログラミング教育については、各教科等で実施していく本町のモデルカリキュラムを基に実践し、今後は、1人1台の端末を活用しての情報活用能力の育成に努める。

Q 中学生の今年度の進路状況は。

A 私立高校と公立高校前期選抜の結果から、生徒一人ひとりが学習や部活動などで希望を叶えた進路決定が見ら

れる。

落ち着いた状況と充実した教育環境の中で一人ひとりが興味・関心のあることに一生懸命、打込めている結果だと考える。

本年度もおおむね全員が希望進路を実現できているのではないかと期待している。

Q 小・中学校の数検チャレンジ推進事業の状況は。

A 小学校では28年度より8級を、中学校では令和元年度より4級について最大2回、受験料を全額補助している。

小学校では、両校合わせて、5年生の約9割の児童が8級に合格、中学校では、3年生の約7割の生徒が4級に合格している状況である。

Q 中学校英検チャレンジ推進事業の状況は。

A 26年度より4級の受験料の全額補助、29年度より年1回3級以上についても受験料を全額補助している。

3年生の合格状況は、4級以上が約9割、3級以上が約7割。準2級以上が約4割である。数検・英検チャレンジ推進事業の取り組みにより、算数・数学と

英語はもとより、他の教科においても、児童・生徒の学習意欲が高まっているとの報告を受けている。

今後とも、小・中学校が連携した取り組みや事業を推進し、すべての児童・生徒の学力向上と希望進路の実現に向けて努力していく。



主体的・対話的で深い学びの実現を



奥田 俊夫 議員

避難所の多機能トイレの 設置状況は

脇本総務課長

多賀小にも設置予定

Q 災害時に開設される避難所の洋式トイレ数は。

A 全てのトイレを洋式トイレに変更する予定はあるか。

A 災害時に通常開設される避難所8施設に68基。
状況に応じて補助的に開設される避難所6施設に42基。

Q 今後、当該施設内

A トイレの洋式化については、必要性等を見極めながらその都度対応し、現在の状況になっている。今後もこれまでと同様に対応していきたい。

補助的に開設される避難所

泉ヶ丘中学校	16 基
いづみ人権交流センター	15 基
いづみ保育園	1 基
多賀保育園	1 基
賀泉苑	6 基
自然休養村サブセンター	3 基
合 計	42 基

通常開設される避難所

井手小学校	27 基
多賀小学校	11 基
有王分校	0 基
自然休養村管理センター	10 基
山吹ふれあいセンター	6 基
玉川保育園	4 基
玉泉苑	6 基
山城勤労者福祉会館	4 基
合 計	68 基

Q 避難所の施設内に多機能トイレが設置されている場所は。

A 身障者用トイレとして、井手小学校・自然休養村管理センター・山吹ふれあいセンター・玉泉苑・山城勤労者福祉会館・泉ヶ丘

中学校・いづみ人権交流センター・賀泉苑・自然休養村サブセンターに設置しており、多賀小学校においても設置予定である。

Q 避難時に介助支援を要する一人暮らしの高齢者の世帯数は。

A 災害時要配慮者支援台帳において、2月末時点で、一人暮らしの高齢者116世帯、高齢者夫婦のみの世帯数は、34世帯である。

また、同様の高齢者夫婦のみの世帯数は。

A 災害時要

配慮者支援台帳において、2月末時点で、一人暮らしの高齢者116

世帯、高齢者夫婦のみの世帯数は、34世帯である。

Q 障がいを持つ方や妊婦さん等が利用される福祉避難所の設置予定は。

A 特に介助が必要な方は、別部屋にて

避難していただく体制で考えている。

さらに、福祉施設

である玉

泉苑や保

育園など

を必要に

応じ開設

する。

なお現

在、民間

の社会福

祉法人弥

勒会の施

設を

福祉避難

所として

指定

させてい

ただべく

協議を

進めている。

Q 各自に合った避難

所を探す道

標として、

今後、避難

所施設の詳

細が記され

A 現在、府において施設名称や所在地、施設種別や対象とする災害、建物情報、運営・

マップの作成やホームページ上での公開等の

予定はあるか。

Q ハザードマップにつ

いては、昨年6月に木

津川及び府管理の4河

川の洪水浸水想定区域

を記した水害ハザード

マップを全戸配布した。

今後、改定の時期な

どの際に検討したい。



避難所に必要な身障者用トイレ



谷田みさお 議員

新型コロナウイルス接種は

小山
保健センター所長

医師会で個別接種も検討

Q 全体の予算規模は。総額3611万3千円。

Q ワクチンの保管と配送方法は。

A 保健センターで保管し、町が保冷バッグに入れて配送予定。

Q 医療従事者の確保方法は。

A 医師は町内の医療機関や綴喜医師会と調

整をすすめるとともに、看護師は現在健診等に従事している看護師や新たな募集で確保していきたい。

Q 町職員と医療従事者との業務分担は。

A 医療行為やそれに付随する知識を要する

関連業務を医療従事者が対応し、資格を要しない事務的な対応は町職員が行う。

A 医師は町内の医療機関や綴喜医師会と調

Q 町内の医院や町外のかかりつけ医で接種できる見通しは。

A 町内の医療機関については、対応を検討していただいている。綴喜医師会では2市2町において相互に個別接種が出来るように検討されていると聞いている。



府内の接種シミュレーション

PCR検査の拡大は

小山
保健センター所長

高齢者施設で検査実施

Q 新たに施設を利用する高齢者等の希望者にPCR検査を無料で受けられる制度で何人の利用者があったか。

A 町内の高齢者施設における利用は1月に1件あったのみで割合は約12・5%となっている。

Q 新年度はこの制度は継続するのか。

A 今年度で終了。

Q 府はPCR検査の実施地域を拡大する方針となっているが本町は要望しているのか。

A 町内施設における検査の実施についても要請をする中、対象地域を府内全体に拡大し、年度内には府内全ての高齢者施設等においてPCR検査等が実施されると聞いている。

ゼロカーボン施策の推進は

脇本総務課長
菱本産業環境課長

充電スポットの設置は困難

Q 新庁舎の温暖化対策は。

A 建物の形状を「L」字型として各居室が外部に面して開口部を確保しやすくすることで極力空調に頼らない計画とし、複層ガラスで高断熱化を図り、空調負荷を低減する計画。外装に有孔パネルを設置し、自然光を効果的に取り入れる計画。

屋上に10kWの太陽光発電装置を設置し、平常時の電力を補う計画もしている。

Q 公用車に電気自動車を導入し新庁舎に充電スポットを設けては。

A 充電スポットなどのハード面や購入費用等の観点から、現在導入については考えていない。電気自動車の普及状況からみても充電スポットの設置は困難である。

Q 太陽光発電設備設置に係る条例化は。

A 今後、効果や設備の需要などを含め見極めていく。



他市で設置されている充電スポット



木村 武 壽 議員

本町の男女雇用機会の均等は

脇本総務課長

差異を生じさせることなく取り組んでいる

Q 本町の取り組みは。

A 義務となった母性健康管理措置として、

平成19年度には育児時間短時間勤務を導入している。

A これまでから職員募集や採用をはじめ、配属や給与などの処遇面においても男女で差異を生じさせることなく取り組んできている。

Q 新たに加わった点は。

Q 平成19年に法改正されて以降、本町の年度別・男女別の正職員の雇用人数は。

A 平成19年に男女雇用機会均等法が改正さ

れた後の年度別・男女別の正職員の雇用状況については以下の通り。
(別表1/年代別・男女別の正職員(一般職員数)一覧表参照)

(別表1)
※単位/名



性別に関係なく働きやすい職場環境を

性別 \ 年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2
男性	73	71	67	64	64	64	65	64	63	65	65	62	62	63
女性	42	43	44	44	44	44	43	42	40	40	38	38	38	39

多賀駅前開発事業は

脇本総務課長

公募の時期を検討中

※P11と質問内容が重なる為、答弁が同じとなります。

Q 現状の取り組みについて

A 京都府において、商業施設誘致にむけた



商業施設予定地

企業との窓口になっていただき、積極的に取り組んできた。
十数社の企業から具体的な問い合わせがあったことから、アンケート調査を実施するとともに、希望する企業に対しヒアリング調査を行い、商業施設出店に対する条件や意向等を確認した。
出店に対し前向きに検討を進めている企業

が複数社あったことから、昨年12月に地元地権者に対し、今後の進め方として、出店企業を広く募集し、第三者による選考委員会において、対象となる地権者と優先的に協議できる企業を選定する方法について、説明を行い、同意をいただいた。
新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた緊急事態宣言が出され、応募予定企業において計画案等の資料作成や企業内の意思決定に時間を要することが想定されることから、公募を開始する時期を検討している。

市町村議会議員研修

防災と議員の役割

議員 岡田 久雄

議員 脇本 尚憲

「平時からの

防災に対する

意識が大切」

換も行い理解を深めました。

1月7日・8日に全国市町村国際文化研修所で開催された研修に参加してきました。研修のテーマは「防災と議員の役割」で平時に議員としての取り組みことや、災害発生時の議会活動のあり方、災害復興期の議会の役割について講義だけでなく具体的な事例の説明、参加議員とグループ討議など情報交



第5次井手町総合計画に関する主な質疑

賛成多数で策定

◎開発・住宅・交通は

Q 「住宅300戸創出で定住支援策を展開する」とは、民間中心の開発を考えているのか。

A 現状では新国道バイパスやそれにアクセスする町道整備に取り組んでおり、住宅開発適地の拡大や手法は今後検討していく。

Q 町内交通網の構想として、南北軸の強化とともに「東西軸の強化を図る」とあるが、具体的にどのような場所か。

A 市街地と国道バイパスを結ぶ東西道路は、複数の路線で検討・調整を進めている。今後計画を具体化していく。

Q 住民アンケートでもバスや電車など公共交通が不便という不満が48・7%と多い。バス交通について何も取り組まないままでもいいのか。

A 町内のバス運行は、財政面や必要性など奈良交通休止の時点から検討

したが、実施は困難と考えているので、今回の計画にも反映していない。

◎子育て・社会教育は

Q 学校生活や社会生活になじめない青少年、引きこもりの実態数は把握しているか。再チャレンジの仕組み、引きこもり解消の具体策は。

A 民生・児童委員からの情報や生活困窮相談の中からわかる状況について、それぞれの関係機関で把握している。

教育委員会では小・中学校で登校しづらい子どもに対して対応している。地域ではスポーツクラブ・交流会等で、子どもの居場所づくりに取り組んでいる。

再チャレンジについては、町の相談事業の充実とともに、府と連携しながら対応していく。

Q 図書館の利便性向上のため、喫茶店や雑貨店・学習塾のような地域の交流スペースとして活用する考えは。

A W i f i が使える、

自習や仕事ができる場に、館内で飲み物が飲めるように、などの希望が多く寄せられている。

移転時に予定されている1階の物販・喫茶が喫茶店や雑貨店の機能を果たすと思われる。学習塾的な機能としては図書館内に設置する自習席の充実や、図書館資料を活用して小・中学生対象の企画など検討を進めたい。

◎障がい者・

高齢者福祉は

Q 府立支援学校開設に向けて、本町が「障がい者が地域で安心して暮らせる福祉の町」となるよう、障がい者への理解を深める研修・交流等を住民全体で行う考えは。

A 障がいの有無にかかわらず、誰もが社会・経済・文化・スポーツなどあらゆる活動に参加する機会を保障し、相互理解を深めていくことが大変重要。支援学校が開校する機会に、今後有効な取り組みや仕組みについて検討していきたい。

◎防災は

Q 現在年に1回防災訓練を実施しているが、今後は避難所開設訓練や避難所運営訓練を実施する予定はあるか。

A 毎年11月に実践に近い防災訓練を実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止のため中止した。今後コロナ感染症対策などを反映した訓練となるよう毎年計画していきたい。

Q 新国道の完成で周辺の土地利用が変わってくる。農業用地については、大規模化・集約化の計画はあるか。

A 農地として残る区域は集約化が望ましい。受益者負担が発生するので、地権者・農業者・農業者団体の意見を聞き、行政も一緒に考えていきたい。



建設中の府立支援学校

いでたん 緊急インタビュー



ワクチン接種対応チームリーダーの西垣参与

多賀小学校で行われたワクチン接種のシミュレーションにいでたんが邪魔し西垣参与にインタビューをしてきました。

Q 会場及び日程について教えてください。

A 集団接種については、5月8日の土曜日からの開始となり、土曜日の午後と、日曜日の午前・午後に、井手小・多賀小のいずれかの会場で実施します。

この日程は、府内で最も早い実施となります。

Q 集団接種では、一日何時間で、何人を接種しますか。

A 土曜日の午後は3時間で90人。日曜日は午前と午後の6時間で180人です。

Q 集団接種と個別接種の予約枠の割合は。

A 集団が7割、個別が3割程度です。

先着順ですので、個別接種の予約枠を超えた方は、集団接種に回っていただくことになりますが接種は必ずできますのでご安心下さい。

Q 集団接種で申込者が来なかった場合はどうしますか。またそれにより余ったワクチンは廃棄されるのですか。

A 受付時間に来られなかった場合は、町職員から電話させていただきま

す。ワクチンに余剰が生じた場合に備えて、翌週に接種予定の方に対して前倒しで接種していただける体制をつくりたいと考えています。

予約日時のお忘れがないよう、必要書類をそろえて、事前に準備していただければと思います。

Q 集団接種会場でアナフィラキシーショックが出た時の対応は。

A 接種後15分間は会場で待機していただき、経過観察を行います。また会場に救急車両を配置する予定です。

Q 帰宅後、体調が悪くなった場合の対応は。

A 帰宅後に体調に異変がありましたら、救急へ連絡してください。

Q 会場の車イスの台数は。また、移動介助を担当する人はいますか。

A 会場には、車イスを2台配置し、車いすでも出入りできるように会場

設営する予定です。車イスの介助等も行います。

Q 集団接種を受けるに当たって注意すべきことはありますか。

A クーポン券をお忘れの場合はワクチン接種が受けられませんのでご注意ください。また、当日は、肩を出しやすい服装でお越し下さい。



接種前の問診ブース

会場では町職員をはじめ消防署員や老人会の方も参加され、会場準備には西垣参与も自ら椅子を運び、汗をかきながら頑張っておられました。取材のご協力ありがとうございました。



高岡会長

い で たん が 聞 く

新米記者いでたんが町に出かけて、まちのこといろいろ聞いてみます。

令和2年7月にまちづくり協議会の
新会長に就任されました
高岡会長にお話を聞きました。



い
で
たん



まちづくり協議会とはどのような団体ですか？

地域の豊かな自然環境や歴史文化を広く発信するとともに、多様な構成団体の専門的な知識や異なった視点に基づく意見交換や交流を通じて、地域の活性化や定住促進に貢献しようと設立された団体です。



設立されたのはいつですか？

2000年5月に設立されました。



構成する団体はどれくらいありますか？

自然環境保護、スポーツ、陶芸、音楽など多種多様な12団体で構成されています。



主な活動内容はどのようなものがありますか？

まちづくりセンター椿坂の管理運営を担いながら地域に根付いた幅広い活動を行っています。例えば、2007年以降、井手町に所縁のある橘諸兄や小野小町などの歴史上の人物に扮して町を練り歩く「時代絵巻行列」や、「名水の里いで 交流促進プロジェクト」など毎年まちおこしのための様々なイベントを開催しています。



「名水の里いで 交流促進プロジェクト」について教えてください。

京都府地域交響プロジェクト交付金を活用し、2019年度から実施しているもので、時代絵巻行列等のまちおこしイベントによる交流促進や、椿坂周辺の農地を活用した特産品づくりなどに取り組んでいます。



まちづくりセンター椿坂周辺の農地を活用した事業について教えてください。

将来、道の駅と連携した特産品販売や観光体験等の取組が実施できるよう、休耕地をお借りし、新たな作物を町と一緒に作る活動をおこなっています。



まちづくり協議会として今後のどのような活動をしていきたいですか？

これからもまちづくり活動の情報交換や連携を図り、井手町のまちづくり活動の活性化のために活動していきたいと思います。昨年から、コロナの影響もあってまちづくりセンター椿坂の休館が続いていますが、今年は、コロナが落ち着いたら、また、みなさんにも参画いただき、これまでと同様の取組が再開できたらと考えています。新しい仲間の参加もお待ちしていますので、一緒に活動してみたい方は是非、事務局【井手町地域創生推進室（0774-82-6170）】までお問い合わせください。



議会広報編集委員会

委員長 脇 本 尚 憲 副委員長 丸 山 久 志 委員 谷 田 みさお 委員 西 島 寛 道 委員 奥 田 俊 夫